



新たな観光基本計画

熱海市長 齊藤 栄

熱海市は今、新たな観光基本計画を策定中です。観光基本計画は、観光振興の大きな方針を中長期的な視点で定めるものです。最初の基本計画が2007年に策定され、今回が三度目です。2030年を目標とした今回の計画は、これまでとは一線を画したものとなる見込みです。

まず、目指すべき方向として「温泉リゾート熱海」を掲げました。これまで熱海市は「温泉観光地」という言葉を使ってきましたが、これからはより質の高い、世界に通用する一流リゾートを目指そうとするものです。これは簡単なことではなく、時間もかかります。景観も含めたさまざまなインフラ整備をはじめ、提供するサービスのレベルも上げていかなければなりません。昨年スタートさせた宿泊税や熱海観光局を活用しながら、まずはその基礎を作っていきたいと考えています。

また、「観光と市民生活との調和」を重点テーマの一つとしました。これは、渋滞対策などのいわゆるオーバーツーリズムを防ぐといったことにとどまりません。観光振興による恩恵を市民の皆様が実感できるようにすることで、市民満足度が向上し、ひいては市民一人ひとりが自らのまち熱海に対する誇りを持つようになることを目指しています。

難易度が非常に高い計画ではありませんが、計画が策定された後、新年度からその実現に向け、オール熱海で力を合わせて取り組んでまいります。